

グリーンハウス WS 報告会のお知らせ

神奈川県体育センター（藤沢市善行）にあるグリーンハウスは、藤沢カントリー倶楽部のクラブハウスとして昭和 7 年にアントニン・レーモンドにより設計された歴史的建造物です。建築後、海軍の徴用、米軍の接收を経て、昭和 28 年に県が取得し、体育センターの合宿所及び食堂として利用してきましたが、建物の老朽化が進み、現在では食堂や倉庫として使用されているだけで、建物としての価値が十分に発揮されていません。

こうした中、県では、昨年の 10 月から 12 月にかけて、相模湾沿岸地域の魅力を高める構想づくりに盛り込むモデル事業を検討するため、邸園文化調査団との協働で「みんなで考えようグリーンハウスの保存再生プラン」と題するワークショップを開催しました。

このワークショップにはスポーツ関係者や地域住民、さらには東海大学建築学科の学生も多数参加し、短い期間でしたが熱心な議論が行われました。

今回の報告会は、レーモンドの建築に造詣の深い建築家の三沢浩さんをお招きして講演会を開催するとともに、昨年のワークショップの提案を総括しながら、今後の展開に向けた活動について話し合う機会にしたいと考えています。

日 時：1 月 2 9 日(日) 午後 3 時～5 時 3 0 分

会 場：グリーンハウス食堂（小田急江ノ島線善行駅から徒歩 3 分）

※ 参加される方は直接会場にお越しください。また、お車での来場はご遠慮ください。

プログラム

- 3:00～4:00 基調講演「レーモンドとグリーンハウス」 講師 三沢浩さん
- 4:00～5:30 ワークショップの総括と今後の展開
- 5:30～ 懇親会（希望者のみ）



“三沢浩（みさわひろし）さんのプロフィール”

- 1955年 東京芸術大学建築学科卒業 同年レーモンド建築設計事務所勤務
- 1963年 カリフォルニア大学バークレー校環境デザイン学部講師
- 1966年 三沢浩研究室主宰
- 1991年 三沢建築研究所設立 現在に至る。作品には「長野市民体育館」「平塚聖マリア教会」「吉祥寺レンガ館モール」など。また、著書には「アントニン・レーモンドの建築」（鹿島出版会）など多数。

主催：邸園文化調査団

協力：東海大学工学部建築学科